SPA：レッスン69

テーマ：様々な助け/シンボル

SPA69/KE 00/3/10

私の姉妹・兄弟たち、スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

以前のレッスンでは、様々な素質的可能性のサイクルにいる間に私たちが見いだす色々な助けの重要性についてお話しました。現在のパーソナリティーが素質的可能性の２番目のサイクルにいる間は、努力は小さな四面ピラミッドをマスターすることに向けられるべきである、つまりピラミッドの頂点に立つことによってピラミッドを完成させることである、と述べました；しかし実際には、部屋の外にある頂点は存在せず、このピラミッドをマスターした現在のパーソナリティーが頂上に立つことによって、完成させる必要があるのです。これは現在のパーソナリティーは部屋の外にいて、大きな四面ピラミッドの中に向かって進み、地面の中ではなく地面の上に立つことを意味します。

さて過去に、生命の木についてお話しました。生命の木は創造のセルであり、それは生それ自体の現れの結果です。生の海、それは汎宇宙的キリストロゴスであり、それはまた天上人でもあります。天上人は（最大から最小に至るまで）創造それ自体に形を与えます；そして創造のセル、つまり生命の木があるのです。

覚えているかもしれませんが、この生命の木にはいくつかの聖なるセンターがある、と述べました。中央の柱があり、中央の柱の両側にそれぞれ柱があります。小宇宙的に見るなら、人間との関係においては、右側の柱はロゴス的下降、人間のイデアであり、また上昇でもあります。左側の柱はいわゆる聖霊的下降であり、それはまた人間のイデアの上昇でもあります。なぜなら、人間のイデアはまたロゴス的現れであると同時に聖霊的現れでもあるからです。

そして、中央の柱に関しては、それは生の下降、汎宇宙的キリストロゴスおよびイエス・キリストロゴスの下降でもあります。実際、この現れは、その動きと黙想のなかにおける絶対存在の現れなのです。この現れを絶対存在、神から分離させることはできません。汎宇宙的キリストロゴスと言うとき、それは生の海であり、それは創造界における全ての人、全ての物を生かし、活性化します。そして前にレッスンで述べたように、イエス・キリストロゴスからも分離させることはできません。イエス・キリストロゴスは実際に天上人ですが、彼がこのフォームと共に現された時、彼は天上人を意味していたのです。

さて、素質的可能性の中には小さな四面ピラミッドがあると述べました。私達の前にはウリエルの監督下にあるサイドがあります。右にはミカエルの監督下にあるサイドがあり、後ろにはガブリエルの監督下にあるサイドがあり、左にはラファエルの監督下にあるサイドがあります。４つのアークエンジェル、４つのアークエンジェルのオーダーがあります。

このワークとエクササイズの目的は、実存の諸世界において現在のパーソナリティーに付き添っているそれらのアークエンジェルとコミュニケート（交流）することです。現在のパーソナリティーにはオーダー全体ではなく、１つのウリエル、１つのラファエル、１つのミカエル、１つのガブリエルが付き添っています。そして守護大天使もいます。ですから、私達の努力はそれらのアークエンジェルとコミュニケートすることに向けられています。

ワークすべき次のピラミッドは三面ピラミッドです。三面ピラミッドはこのサイクルが現在のパーソナリティーに提供できる素質的可能性を意味しています。私達の真の本質、生の特質です。このピラミッドの各サイドは生の主な特質の１つを意味しています。

Page2

私達の正面には角があります。そして右側のサイドは絶対善と呼ばれる特質を意味し、それは生の絶対存在のロゴス的本質です。左側のサイドはダイナミックな絶対パワーを意味し、私たちが絶対パワーと呼ぶ生の特質です。そして後ろのサイドは絶対英知を意味します。私達はこのピラミッドについてワークする必要があります。

次のピラミッド、このサイクルによって、そして他の全てのサイクルによって私達に与えられる次の助けは五面ピラミッドです。このピラミッドは最初は五感を意味し、このピラミッドについて本当にワークをする現在のパーソナリティーは、徐々に５つの超感覚をマスターすべく上昇していきます。

現在のパーソナリティーは２番目のサイクルにいる間に５つの超感覚をマスターできるようになるのでしょうか？現在のパーソナリティーは５つの真の感覚、つまり５つの超感覚を時折、より意識的に使うようになるでしょう。考える時だけでなく、空想するときにも。現在のパーソナリティーは前よりも非常に早いスピードで認識できるようになりますが、そのためにも５つの超感覚が必要なのです。

次のピラミッドは一面ピラミッドです。それは円錐形であり、意識を全方向に広げていくことを意味します。これは三面ピラミッドを回転させる結果であり、回転の速度の結果として一面ピラミッドが形成されます。

前に述べたように、それらのピラミッド全ては、創造の不動の法則から助けとして初めから与えられているものです。現在のパーソナリティーが徐々にゆっくりとあるべき生の真の本質を現すことができるようにです。

この素質的可能性のサイクルと創造のセルとの関係とは何でしょうか？２番目の素質的可能性のサイクルにいる間、現在のパーソナリティーは地のエレメントのなかにいます。大きな四面ピラミッドの下にある部屋のなかで、それは人間の無知の枠内を意味しています。この部屋の中にいること、それは現在のパーソナリティーが、中宇宙的にあるいは大宇宙的に、創造のセルとの関係において最下部の聖なるセンターにいることを意味します。（創造のセルにおける）最下部の聖なるセンターとは、地球にいる私達人間にとっては惑星地球を意味します。

中宇宙的にあるいは大宇宙的に、創造のセルとの関係において、現在のパーソナリティーのワークとは最初の磔から下の部分です。この三角形は実存の諸世界における現在のパーソナリティーを意味し、その三角形は他の二つの三角形、つまりアウタルキーにおける絶対存在を意味する大きな三角形および汎宇宙的キリストロゴスの三角形、と全く同じ形です。唯一の違いは、この三角形は他の三角形から遙かに離れていて、その間には距離があります。そしてその距離は聖なる目的の結果であり、それによって聖なる仕事が達成されるためです。さて以上のことは中宇宙的あるいは大宇宙的な創造のセルに関することです。

それでは、私達の肉体のヒポスタシス（＊状態）を提供し、私達の形態の元型でもある創造のセルについてはどうでしょうか？この形態に関して、様々な素質的可能性のサイクルにおいて私達が行う努力との関係は何でしょうか？

私達の気づきのレベルを上昇させようとするとき、それはつまり現在のパーソナリティーの不定形な諸体を再形成することですが、そのための努力とは人間のイデアのフォームを帯びることであり、その形、フォームと同じになることです。なぜなら、最初は現在のパーソナリティーの２つの体は…私は３つの体とはいいません、なぜなら肉体は現在のパーソナリティーがこのバイブレーションの次元で自らを表現するための手段にすぎないからです。肉体は聖霊による創造物であり、それは現在のパーソナリティーがこの次元で自らを現すために与えられたものです。

肉体は私達自身ではありません。ですから、現在のパーソナリティーは不定形の諸体を再形成する必要があります。どれぐらい再形成する必要があるかは、現在のパーソナリティーがどれだけその方向に向けてワークするかによります。より多く再形成されて現在のパーソナリティーの諸体が本来の形に近づけば近づくほど、私たちはそれだけ生それ自体、私達の真の本質を表現するようになります。

Page3

さて、現在この地球上の大部分の人間が属している素質的可能性の２番目のサイクルにおける努力とは…勿論様々なレベルの現れにおいて…そのレベルを認識すること、現れの本当のレベルを認識することです。

私たちはまず、自分たちが毎日の人生においていかに優れた役者であるかを理解する必要があります。ですから、私たちは役者の衣装を脱ぎ捨て、自分の気づきのレベルの真の現れであるセルフを現すことを目指すべきです。

さて、次のサイクル、つまり３番目のサイクルでは現在のパーソナリティーはどのように表現していると思いますか？いかなる欠点、弱点もなく、悪い点は何もない自分を現していると思いますか？答えはノーです。３番目の素質的可能性のサイクルではたくさんの大変なワークがあります。なぜなら、現在のパーソナリティーはまず最初にエゴの様々な側面を認識するワークをしなければならないからです。現在のパーソナリティーが役を演じることを止めるにつれて、エゴはよりはっきりとしてきます。なぜなら、もはやそこには役を演じる、つまりカムフラージするものがないからです。

そしてエゴの様々な側面はより強くなっているように見えます；勿論、実際にはより強くなっているわけではなくて、今までよりもはっきりと見えてきただけです。さて、三番目のサイクルで行うべきワークはたくさんありますので、ワークがここで終わるわけではありません。あらゆる弱点、正しくないもの、真の意味で益にならないもの等から完全に解放されたセルフ、自己を表現するようになるのでしょうか？答えはノーです。３番目の素質的可能性のサイクルにおいて一生懸命にやるべきことはたくさんあります。なぜなら、現在のパーソナリティーはまず、エゴの様々な側面を認識できるようになるべく努力しなければならないからです。次の素質的可能性のサイクルに入ることができるようになるために、現在のパーソナリティーはある気づきのレベルに到達するよう準備する必要があります。そのためにエゴの様々な側面を殺し始めます。たくさんのワークがあります。

もちろん、小宇宙的な意味での生命の木に関しては、素質的可能性の３番目のサイクルをマスターすることは、もちろん下から２番目の聖なるセンターおよびそれより上のセンターに相当します。そして私たちの身体においては、このセンターは太陽神経叢に対応し、つまり現在のパーソナリティーが真の５つの感覚、つまり５つの超感覚をマスターしたことを意味します。現在のパーソナリティーが使用している五感、それは人間の無知を意味します。そして下向きの五芒星がありますが、それは現在のパーソナリティーが地の中でフォーカスしていることを意味します。上向きの五芒星がありますが、それは頭を上に向けて地上に立っていることを意味します。ですから、３番目のサイクルにおける努力とは、五芒星をその適切な位置に置くことです。勿論、３番目のサイクルに受け入れられるには、他のいかなるサイクルにおけるよりもずっと多くの努力が必要となります。ここではたくさんのワークが求められ、多くの転生が必要となります。

さて、生命の木、つまり創造のセルにおける動き、一番の下のポジションから２番目のポジションへ向けての動きについて述べました。しかし現在のパーソナリティーが部屋のなかにいる間は、実際には反対側を向いていることになります。部屋のなかにいる時の主な目的の一つは、180度回転することに成功することです。なぜなら、何回も述べたように私たちは小さな四面ピラミッドをマスターし、自動的に部屋の外にいる自分を見いだす必要があるからです。それはつまり、前に進むためにどちら側を向くべきかを認識しなければならないということです…それによってガブリエルの監督下にあるドアーを通過するために。それは現在のパーソナリティーをアベニュー（大通り）、つまり生それ自体へと導くドアーなのです。アベニューそれは実際に主であり、それは生のアベニュー（大通り）なのです。

ですから、小さな四面ピラミッドをマスターすることによって、現在のパーソナリティーは大きな四面ピラミッドのなかに自らを見いだすとき、180度ターンしてこのアベニュー、つまり中央の道を進んでいることを認識できるようになるでしょう。しかしです。ここに「しかし」があります。現在のパーソナリティーは中央のアベニューを上方にのみ進むのでしょうか？

答えはノーです。現在のパーソナリティーは同時に三つのアベニューの全てを進まねばなりません…それによってバランスの取れた現在のパーソナリティーを現し、どんどんより高いレベルの気づきを現すためです。その結果、私たちは同胞の人間達のためにより役立つことができるからです。

ロゴスの側にはエゴの10の側面を意味する10のステップがある、と述べました。なぜ10という数なのでしょうか？なぜならば、創造のセルのフォーム全体が10に基づいているからです。この数はこのセルの全体のフォームの結果です。10の主な聖なるセンターがあり、それ故に10のステップがあります。

そして聖霊の側には14のステップがあります。なぜ14なのでしょうか？なぜなら、実存の諸世界では7つのアークエンジェルのオーダーがあり、実存の諸体（それが人間の身体であろうとも他の身体であろうとも）を築き、維持しているからです。全てが築かれ、維持されています。しかし、７つのオーダーあるなら、何故14になるのでしょうか？各オーダーは分割されており、その結果14になるのです。14のステップがあり、各ステップはより高い気づきの現れを意味します。現在のパーソナリティーが上に上昇していく時、これは現在のパーソナリティーがより多く意識から現すようになることを意味します。意識＝生であり、生＝意識です。

勿論、現在のパーソナリティーが自己実現に到達すると、現在のパーソナリティーはそのレベルの意識、そのレベルの生を現すようになります。現在のパーソナリティーの素質的可能性のサイクルが、生それ自体から提供しているものです。

前のレッスンでも述べましたが、人間はまたアークエンジェルでもあるのです…少し違いはありますが。人間は特定のオーダーには属さず、そのセルフ・エピグノシスはプログラムされていません。自己実現に到達した人間は、ひとたびそのアークエンジェル的ヒポスタシス（＊状態）を現すなら、全てのアークエンジェルのオーダーと協力することができるのです。

ですから、意識の14のステップについて述べました。また過去に、生が現在のパーソナリティーに提供するそれらのステーションについても述べました。それは誰もが通過しなければならないステーションです。全ての人間は最初の転生から最後の転生に至る間にそれらのステーションを通過しなければならないのです。それらのステーションはそのシンボルによって提供されており、それは主の誕生、及びこの実存界のバイブレーションにおける現れを意味しています。それは14芒星、つまりベツレヘムの星です。

さて、進化・成長に向けて努力をしている現在のパーソナリティーに関しては、各ステップはそれらの各ステーションに対応しています。誰もがその梯子を登られねばなりません。それは生の梯子（はしご）であり、どれかを省略して上に登るということはできません。同じ事が14芒星によって提供されているステーションについても言えます。

さて、10の聖なるセンターについて述べました。中央の柱の主なセンターは4つです。一番下のセンターは小宇宙的にいわゆるクンダリーニ、あるいは生殖器に対応します。次のセンターは太陽神軽叢であり、それは意識のセンター、純粋意識のセンターです。次のセンターはハートのセンターであり、それは意識およびセルフ・エピグノシス、言い換えればロゴス的センターです。そして次は頭の中央のセンターで、純粋なロゴス的センターです。

４つのセンターがありますが、前にも述べたように私たちは３つしか使いません。最下部のセンターにはタッチしません。それは完全に聖霊の監督下にあります。私たちはいわゆるクンダリーニにはタッチしません。

ですから４つのセンターがありますが、福音書の聖ヨハネが７つの教会、７つのキャンドル、７つの星と述べたこと（＊ヨハネの黙示録）についてはどうでしょうか？それらの７つのセンターはどこにあるのでしょうか？そうです、４つの主なセンターがあり、３つの横断箇所があります。最初の横断路、つまり最初の磔があり、それは現在のパーソナリティーがバランスのみならず調和を現していることを意味します。調和は生の特質であり、一番下の三角形が現在のパーソナリティーによって完成されたことを示します。実際、現在のパーソナリティーはこの三角形をマスターしたのであり、次の磔があり、それは魂のセルフ・エピグノシスが神へと戻る準備ができていることを意味します。しかし、何であれ経験しなければならないことがあり、それはいかなる人間にも知られていません。そのために２番目と３番目の横断路にはそれほどの距離があるのです。

考察すべき次のセンターは３番目の磔です。それは魂、自己実現した魂が神へと戻り、スピリットであるセルフに自己実現を与えるということです。そして勿論、スピリットは…創造の諸世界で表現するためには…その瞬間からドミニオンを現すようになるでしょう。ドミニオンとは…もし放蕩息子の例え話を例にとるなら…金の指輪であり、それは父から息子に与えられるものです。

Page5

ですから、７つのセンターがあります。さて、それを小宇宙的に考え、もし14のステップを通過するとするなら…それは素質的可能性のサイクルを通さずに直接的に生によって私たちに提供される14のステーションに対応します。生のこのフォームに関して、14のステーション、14のステップはどこにあるでしょうか？この形を取るために、つまり自己実現のために不定形の体を完全に再形成するなら、ステーションとしての14のセンターはどこにあるのでしょうか？１，２，３，４，５，６，７そして６，13という数があります。14となるために他の一つはどこにあるのでしょうか？しかし、14のセンターをマスターするなら、それは意識がこのステート、このフォームをマスターしたことになり、それは上にひとつのセンターがあります。それで14となります。そして私たちの身体に関して言えば、頭の上方に一つのセンターがあります。もし身体の最後のセンターをマスターすれば…それは頭の中心にあるセンターですが…自動的に意識は頭の上方に根付くようになります。以上は現在のパーソナリティーを小宇宙的に見ていきました。

それでは人間のイデアに関しては、創造の諸世界における現れとしての人間は大宇宙的にも前に述べたこのリアリティーに立っています。なぜならば、自己実現した魂のセルフ・エピグノシスにとって、神のところに帰るためには14のステーション、ステップを経なければならないからです。これは自己実現したスピリット・セルフは創造の諸世界をもマスターすることを意味します。ですから実際、魂が神に戻るには、スピリットはその瞬間からこのシンボル…つまり創造のセル…の上に立つのです。アウタルキー（自足）のステートにはこの創造のセルはありません。

アウタルキーというステートはその外です。ですから、14芒星は現在のパーソナリティーのためだけのものではないのです。その星は総体としての人間のイデアのためであり、現れの全ての世界のためのものであり、生の海によってこの現れのために提供されています。なぜなら、存在するものすべては現れだからです。すべては表現され、現れなのです。

ですから、私たちはこの生命の木を中宇宙的に、大宇宙的に、そして小宇宙的に見ていきました。勿論、将来的に様々なピラミッドに関するたくさんのエクササイズがありますが、同時に生命の木に関しても中宇宙的ではなく、小宇宙的にワークすることになるでしょう。

私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

それでは質問を受けましょう。

Ｑ：７つのアークエンジェルのオーダーの分割とはどういう意味ですか…。

Ｋ：分割とは実際にはアークエンジェルのエレメンタルです。これに関しては将来お話します。今はそれを分析したり、７つのアークエンジェルについて述べることもしません。将来的にはそれぞれの役割とそれらの創造についてお話します。

Ｑ：役者としての衣装を脱ぎ捨てると、自分のエゴをもっとはっきりと見ることができる、と言うことですが。

Ｋ：自分のエゴを見ることができます。しかし、エゴイズムを捨てることができるでしょうか？答えはノーです。あなたは能力を得なければなりません、それは３番目の素質的可能性のサイクルで現在のパーソナリティーが行うことです。最愛のお方が弟子の何人かに、「死人が自らの頭を埋めるにまかせなさい」と述べた時、それは弟子が３番目の素質的可能性のサイクルをマスターする寸前だったことを意味します。つまり彼らはエゴイズムの様々な側面を殺し始める準備ができていたことを意味します。準備はできています。しかし、エゴの様々な側面を殺し始める真のワークは４番目の素質的可能性のサイクルでスタートしますが、初めからではありません。それゆえ、生それ自体によって、イエス・キリストロゴスによって火の洗礼を受け得た後、弟子達が素質的可能性の４番目にサイクルに入った時ですら、彼らの間には多くの争いがあったのです。なぜなら、まだ彼らにはエゴが残っていたからです。現在のパーソナリティーは火の洗礼が始まって即座にエゴの様々な側面を殺し始めることができるようになるわけではありません。しばらく後になったからです、この洗礼を経てワークをしてからです。そして火の洗礼は現在のパーソナリティーが４番目の素質的可能性のサイクルに入る時に始まり、現在のパーソナリティーの自己実現によって完了します。

勿論、この地球上にいる全ての人間にとって２番目の素質的可能性のサイクルでやるべきワークはたくさんあります。

Ｑ：自分たちのポジションを認識するためにですか？

Ｋ：自分の気づきのレベルを認識するためです。そして小さな四面ピラミッドをマスターする間際まで来ると、現在のパーソナリティーは180度回転することができるようになります。それはその人が２番目のサイクルにいる間にそうなるのではなく、３番目の素質的可能性のサイクルに入った後にそうなります。なぜなら、このアベニューに入るためには（＊キキスは表を使って説明しているものと思われます）あなたは３番目にサイクルに入っている必要があるからであり、それ以前ではありません。そしてそのサイクルに入ると、あらゆる信念、あらゆるアプローチ（＊様々なグループの特定の考え方）などは全て背後に捨て去られます。実際、それらの信念、アプローチは何かを提供するというものではなく、違いはありません。全ての人は生それ自体のアベニューの中にあるのです。ただ、そこに入るパーソナリティー達には信念によるものではない、名前による二次的な信念があるでしょうか？答えはイエスです。

Ｑ：三面ピラミッドは四面ピラミッドのなかにありますが、それは４番目あるいは３番目のなかでしょうか？

Ｋ：内側にあるかどうかと言う問題ではありません。それら全てのピラミッドには共通のベースがあります。まず四面ピラミッドがありますが、この四面ピラミッドのベース、そのベースの中心点はそれに続く全てのベースの中心点となっています。サイズですが、どれがどれの内側にあるかどうか、それはサイズによります。しかしサイズですが、覚えているかもしれませんが、四面ピラミッドは部屋のなかで全てが完成されているわけではありませんが、他のピラミッドは部屋のなかで完成されています。つまり他の全てのピラミッドの頂点は部屋の天上に触れており、部屋の外に突出していません。

Ｑ：小宇宙的に言うと、体のセンターはどこにあるのですか？13の…。

Ｋ：創造のセルに関して、一番下から見た最初のセンター、それは中宇宙的に惑星地球を意味しています。そして勿論、小宇宙的には何も関係していません。なぜなら小宇宙的に関係するのは不可能だからです。

さて、３番目のセンターはいわゆるクンダリーニ、あるいは生殖器官に対応しますが、私たちはこれに触れるべきではありません。残念なことに他のグループ、組織ではこれに触れていますが、私たちはそれには触れません。

次は太陽神経叢です。ここは肉体の健康を意味し、それは純粋に意識のセンターです。

次はハートのセンターであり、それはロゴス的であり同時に聖霊的です。言い換えれば、それはセルフ・エピグノシスのセンターであり、また意識のセンターです。そして次に頭のセンターがありますが、それは純粋にセルフ・エピグノシスのセンターです。

さて、交差点についてはどうでしょうか。上から見てみましょう。上からいくと、３番目の交差点がありますが、それは肩より上にあり甲状腺です。

次の交差点はセンターですが、それは心臓よりも少し上にあり、両サイドに肺があります。これらは実際には肩より上のセンターなのです。交差点とこれら２つのセンター、これは右の肺、これが左の肺、これが心臓、肝臓、脾臓です。あなたのチャートを見てください。右に３つのセンターがあり、左に３つあります。それらがセンターにあります。ですから数えるなら13のセンターとなります。数を述べただけであり、詳細には触れません。

EREVNA/SPA69/KE00/NO/1/3/.10/00